



【教育実習 始まる】5月30日(月)～2, 3, 4週間

未来の教員を目指して、9名の教育実習生(卒業生)が水戸二高で実習を始めました。県内の小中学校や高等学校には教員として活躍している本校の卒業生がたくさんいますし、在校生の中にも将来、教員になりたいと希望している人は多いと思います。



【体育の研究授業】

現在、水戸二高の生徒の活躍などの説明に、近隣の中学校を訪問していますが、教頭先生や3学年主任、進路担当で女性の先生が対応してくれた場合、本校の卒業生であることが多いと感じています。「今年の新採の先生は水戸二高卒で、一生懸命頑張っていますよ。」と言われ、嬉しくなったこともありました。

本県の求める教師像の一つに「人間性豊かな教師」があります。教師としての専門性を高めることはもちろん大事ですが、高校時代にさまざまなことに挑戦し、多くのことを学ぶことも大事だと考えます。

部活動、生徒会活動、学校行事、SSH活動、海外研修など何でもいいと思います。関心があることに積極的に挑戦してみてください。

【国際理解講演会】5月31日(火)

国際連合統計部次長でニューヨーク在住の大崎敬子さん(卒業生)を講師としてお迎えし「国連で働くー世界を舞台に仕事をしてみませんか?ー」という演題で講演会を実施しました。

始めから国連職員を目指していた訳ではないという大崎さんですが、大学時代のスリランカへの海外旅行などを機に自分の関心分野を自覚し、米国ジョージタウン大学大学院で人口学を学び、国連採用の競争試験を経て、本部人口部に採用となったそうです。

国連の目的や役割、大崎さんが担当している仕事について話を聞きました。

大崎さんの仕事は、

- ・国際会議、専門会議の企画、開催
- ・国連を代表して各種国際会議に参加
- ・グローバルな問題についての啓蒙、理解を高めるためのデータ収集・分析、研究報告書作り
- ・人口、統計分野における国際支援、技術協力
- ・ミャンマーの国勢調査のお手伝い

など多岐にわたっていて、ひとくちに「統計」といっても、その基準作りから



【講演中の大崎氏】



【花束贈呈】

始めることもあるそうです。

日本が負担している拠出金の割合約18%に対し、日本人の職員はわずか2.5%であること、国連は能力のある女性を育てる環境にあるなど男女差・国籍による差別がない職場でもあることを話されていました。

最後に皆さんへ次の3つのメッセージを残してくれました。

- ・学生時代、夢中になれるテーマを見つける
- ・好きなことをとことん極める
- ・専門的知識を持つことによって、性差別のない、国際的な場で仕事をする機会が広がる。

二高生の皆さん、世界に目を向け、先輩 大崎敬子さんに続いてみませんか?

【水戸市環境フェア2016】6月5日(日)

三の丸庁舎広場を会場として水戸市環境フェアが開催され、本校からも昨年度の「環境科学」の授業で調べた内容を4人の生徒がポスター発表しました。

〈ポスター発表〉

「わたしたちと海洋汚染」	川口 葉奈さん	(3の2)
「I am クローン」	神戸 有香さん	(3の2)
「サンゴ礁を守る」	二川 れいらさん	(3の7)
「環境ホルモンと私たち」	宮田 七歌さん	(3の7)



【ポスター発表の様子】



【セグウェイ】

会場では、セグウェイに乗る体験コーナーがあったりして、多くの団体がさまざまな視点から考えた環境への取り組みが紹介されていました。

【茨城県高等学校家庭クラブ役員会に出席】6月9日(木)

家庭科の学習の一環として取り組んでいる学校家庭クラブは、「家庭生活や地域社会の改善向上をはかる。よい社会の一員としての社会性を身につける」などの目的のために活動しており、来年度は、水戸二高が会長校となります。

今年度の会長校の銚田第二高校で行われた役員会には、次期会長 桑名 夏音さん(1の3)、次期副会長 吉田 莉菜さん(1の3)の2名も参加しました。

ふたりは今年の夏から東京で行われる研修会にも参加します。来年度に向け準備してください。



【家庭クラブ旗の前で】